

甲 第 号

奥村 和生 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	和中 明生
論文審査担当者	委員	准教授	牧之段 学
	委員(指導教員)	教授	佐伯 圭吾

主論文

Influence of Depression on the Association between Colder Indoor Temperature and Higher Blood Pressure

うつ症状が室温低値と血圧高値の関連に及ぼす影響

Kazuki Okumura, Kenji Obayashi, Yoshiaki Tai, Yuki Yamagami, Norio Kurumatani,
Keigo Saeki Journal of Hypertension 2022 (in press)

論文審査の要旨

室温と血圧の相関はこれまで多くの疫学的な研究から示されている。申請者はこの2つの因子の関係にさらに「うつ」がどのような影響を及ぼすかについて60歳以上の1076名の平城京スタディ参加者に対して2日間の連続的な室温、血圧の測定と老年期うつ病評価尺度によるうつ症状の評価を行い、これら因子間の関係についてマルチレベルの線形回帰モデルを用いて統計解析を行った。うつ症状ありの集団では日中の室温と平均収縮期血圧の間に有意な負の相関を認めたが、うつ症状なしの集団ではそのような相関を認めなかった。本研究はうつ症状の評価を行うことで寒冷曝露による高血圧リスクを有する集団を抽出できる可能性を示唆している。

公聴会ではうつ症状ありの集団での心理的な影響が血圧変動にも及んでいないかという問いに対してそれも含めて交感神経系やホルモンの影響が早朝の高血圧に寄与している可能性があることを指摘した。交感神経系の影響をどのように評価するかについては費用対効果の面から考えて非侵襲的な血圧連続測定から脈拍変動指数の評価を行いたいとの展望が述べられた。

本研究は、高血圧の病因やうつ病の病態生理に新たな視点を与えるもので医学博士の学位に値する研究と判定した。

参 考 論 文

1. Association between NT-proBNP and nocturia among community-dwelling elderly males and females: A cross-sectional analysis of the HEIJO-KYO study
Kazuki Okumura, Kenji Obayashi, Yoshiaki Tai, Yuki Yamagami, Hiromitsu Negoro, Hiroshi Kataoka, Norio Kurumatani, Keigo Saeki *Neurourology and Urodynamics* 2021 Jan 12;40(1):112-119.

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに疫学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和4年9月13日

学位審査委員長

機能形態学

教授 和中 明生

学位審査委員

精神医学行動神経科学

准教授 牧之段 学

学位審査委員(指導教員)

疫学

教授 佐伯 圭吾